

2010 年度実施概要

期間

2010年4月から12月まで、全20回

会場

ホテル日航福岡

募集対象

自治体職員、民間企業の社員・経営者、法律・会計・技術系ほか専門職、大学院生など

募集人数

1. 受講生 25名

(講演の聴講、講師との討論、報告書の作成、政策提言発表に参加。社会人の修了者には九州大学総長が修了証書を授与します)

2. 聴講生 100名程度 (講演の聴講のみ、12回)

受講費用

1. 受講生 30万円

2. 聴講生 5万円

プログラムの概要

・研究テーマ

1. アジアの活力を九州に取り込むにはどうすればよいか

九州がアジアの成長力を生かす方策について、留学生を含む人材活用の面からアプローチします。アジアに進出した企業の人材確保や、高い技術を持つ外国人の国内企業受け入れが容易になるには何が必要か。国の制度にかかわる政策は「広域特区」的発想で提言をまとめます。

2. 移動の容易な利便性の高いまちをどうつくるか

深刻化する環境問題や高齢化を背景に、地域の公共交通機関の役割がますます大きくなりそうです。便利な移動手段が確保されれば、暮らしやすさが向上し、定住・交流人口が増える可能性も開けるでしょう。そのために必要な政策を提案します。

※2011年度以降は、地域医療、農業、観光、社会資本整備などを予定

・進め方

前半は時代背景や問題意識を共有するために、講演と講師との討論を中心に構成。後半は政策提言に向け、具体的なテーマに沿った講義や討論を行います。

・主な講師

チャールズ・レイク	(アフラック会長、在日米国商工会議所名誉会頭)
中川 勝弘	(国際経済研究所理事長、トヨタ自動車前副会長)
石原 進	(JR九州会長)
モンテ・カセム	(立命館アジア太平洋大学前学長)
矢田 俊文	(北九州市立大学学長)
森 雅志	(富山市長)
村尾 信尚	(日本テレビ NEWS ZERO キャスター) ほか

※順不同・敬称略